

「発達支援・特別支援教育に関する情報紙の制作」（市民活動団体提案協働事業）
（いろんなカタチ鎌倉／ 教育指導課・発達支援室・障害福祉課）

Q 星山先生とは何かつながりがあるのですか。

A （担当課）発達支援室で平成29年度から市の重点事業として、身近な地域のサポーターの養成事業を行っており、その事業の講師として星山先生に来ていただいている。今年度からは実際に講座を行った方を支援者として学校の方にもボランティアとして支援をしていただいている。鎌倉にお住いの先生でもあり、新聞の作成についてもご意見をいただいた。

（団体）追加させていただくと、元々この星山先生の「気になる子どもみんないきいき保育」の中で登場しているものが非常にわかりやすかった。障害というわけではなく、クセということで、誰でもあるものだよとわかりやすくするために星山先生にご協力いただいて、こちらの方から少しアイデアを抜粋させていただいたという経緯もある。

Q 1号、2号ができた中でこれからどうしていくのか。

A （団体）事業の継続は決まっており、今年度も3号以降を出す予定になっている。年々子供達が大きくなっている中で、ずっと提供していきたい話題なので、市のHPなどでの閲覧やバックナンバーを読めるような形にしていくことを検討している。

Q この成果物の上の方に行政側3課と一緒にやっていると書いているが、協働事業なので鎌倉市が出しているという形で、もうちょっとPRできないかと考えたがどうか。

A （団体）1号、2号ともに、3課といろんなカタチ鎌倉が発行していると記載しているが、連絡先を団体だけにしてしまうと個別の相談などで対応しきれないところがあるため、それぞれの年齢別に担当がわかるように電話番号と担当者の顔も載せている。

Q 団体が目的プロセスを共有し、協力して進められたかというところに△があり、最後の方に市民サービスの向上したかに△がついているが、この辺の評価についてはどういうところからきているのか伺いたい。

A （団体）目的プロセスというところは1号を発行する中で、行政の決裁のやりとりが非常に複雑でとても非効率的なやり方をしていたことで構成から入稿するまでとても時間がかかってしまったことがあげられる。行政のシステムがわからなかったので時間がかかっていたが、その後、3課の方がどうやったら効率よく決裁まで行くかということを協力していただいたため、2号ではスピードがアップした。しかし、1号で時間がかかってしまったので△になっている。市民サービスが向上したかというところは、団体ではこの一年ですごく向上したとか目で見てわかりづらかったため、お任せしたところがあり△にした。

Q なぜ1号は無断転用・掲載はやめてくださいと書いてあるのか。

A （団体）これは1号の中に星山先生が出している本の中身があり、これを無断に転用されてネット上にあがり無断で使われていくことに懸念があるということだったため、全部そうなってしまった。今後はこの部分については許可を得てダウンロード等の形にしていけばと考えている。それ以外の部分は大丈夫だが、この部分だけダメというのは変なのでこうなった。2号からはコピーは大丈夫だが、1号で無断転用禁止となっているため、皆様が団体にコピーして良いかと許可を取っている現状があり、広まっていけないのが課題である。